

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年6月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 雅夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成24年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	1,789	5.2	101	153.5	98	183.6	49	—
24年2月期第1四半期	1,701	△1.6	40	—	34	—	△99	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	6,262.66	—
24年2月期第1四半期	△12,598.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	3,948	2,146	54.4
24年2月期	3,745	2,116	56.5

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 2,146百万円 24年2月期 2,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,550	3.2	70	12.2	60	15.2	15	—	1,899.70
通期	7,730	6.5	260	25.3	240	27.1	100	—	12,664.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	9,750 株	24年2月期	9,750 株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	1,854 株	24年2月期	1,854 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	7,896 株	24年2月期1Q	7,896 株
----------	---------	----------	---------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きなど、景気には緩やかな回復傾向がみられたものの、一方では、欧州における財政危機による世界的な金融不安の拡大や原油価格の高騰、国内における円高およびデフレの長期化などの要因により、先行きについては不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、雇用情勢や所得環境は停滞が続いており、将来不安などの要因もあり消費マインドの本格的な回復には到らず、経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社は、販売面におきましては、「METHOD既存店の更なる強化」と「流儀圧搾事業の拡大と収益力の改善」を方針として、業績の向上に取り組んでまいりました。

「METHOD」につきましては、商品面では学生層、大人層、ファミリー層などそれぞれの客層をターゲットとした品揃えの充実を図ることにより、売場を活性化してまいりました。また、店舗スタッフ一人一人に基本的な挨拶を徹底するとともに、お客様に対するコミュニケーションの強化を図ることにより、販売力の向上に努めてまいりました。その結果、「METHOD」の当第1四半期累計期間の売上高前年比は101.9%、既存店売上高前年比は103.3%となりました。

「流儀圧搾」につきましては、各店長の日々の業務レベルの向上を図るとともに、「和の文化とファッションを提案するショップ」としてのブランド力の強化を目指し、スタッフの意識と接客サービスのレベルアップに努めてまいりました。また、独自性の高い商品、付加価値の高い商品など「流儀圧搾」ならではの商品展開に取り組むことにより、プロパー販売の強化に努めてまいりました。新店につきましては、3月に1店舗の出店を実施いたしました。その結果「流儀圧搾」の当第1四半期累計期間の売上高前年比は116.5%、既存店売上高前年比は101.3%となりました。

以上により、全社の売上高前年比は105.2%、既存店売上高前年比は102.9%となりました。

商品面におきましては、荒利率の改善をテーマとして取り組んでまいりました。商品構成の見直しを図り、シャツ、カットソーなどの商品群の品揃えを強化するとともに、適時適切な商品発注の徹底および価格設定の見直しを図ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間の客単価前年比は、107.1%となり、売上総利益率については51.2%と、前年を1.7ポイント上回りました。

店舗戦略につきましては、当第1四半期累計期間において「流儀圧搾」1店舗を出店した結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は「METHOD」40店舗、「流儀圧搾」27店舗、「METHOD COMFORT」2店舗、「AGIT POINT」1店舗の合計70店舗となりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は17億89百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は1億1百万円（前年同期比153.5%増）、経常利益は98百万円（前年同期比183.6%増）、四半期純利益は49百万円（前年同期比1億48百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は25億24百万円となり、前事業年度末に比べ2億40百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少99百万円、売掛金の増加1億69百万円、商品の増加2億4百万円等によるものであります。固定資産は14億24百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の減少23百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、39億48百万円となり、前事業年度末に比べ2億3百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は12億82百万円となり、前事業年度末に比べ2億30百万円増加いたしました。これは主に買掛金の増加2億28百万円等によるものであります。固定負債は5億19百万円となり、前事業年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少46百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、18億2百万円となり、前事業年度末に比べ1億73百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は21億46百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益49百万円の計上及び剰余金の配当19百万円の支払い等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月5日の決算短信で発表いたしました平成25年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 2 月 29 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 152, 774	1, 053, 590
売掛金	246, 121	415, 160
商品	756, 075	960, 513
繰延税金資産	90, 732	52, 853
その他	40, 129	44, 619
貸倒引当金	△2, 508	△2, 674
流動資産合計	2, 283, 324	2, 524, 061
固定資産		
有形固定資産		
建物	909, 881	912, 937
減価償却累計額	△577, 592	△596, 907
建物（純額）	332, 288	316, 029
工具、器具及び備品	170, 229	173, 446
減価償却累計額	△127, 900	△131, 949
工具、器具及び備品（純額）	42, 329	41, 496
建設仮勘定	6, 712	—
有形固定資産合計	381, 331	357, 526
無形固定資産		
ソフトウェア	13, 630	20, 874
リース資産	86, 760	79, 530
その他	6, 000	3, 150
無形固定資産合計	106, 390	103, 554
投資その他の資産		
投資有価証券	43, 290	43, 290
長期貸付金	73, 216	72, 458
長期前払費用	17, 090	14, 951
繰延税金資産	47, 516	47, 563
敷金及び保証金	866, 483	857, 531
貸倒引当金	△73, 216	△72, 458
投資その他の資産合計	974, 379	963, 336
固定資産合計	1, 462, 101	1, 424, 418
資産合計	3, 745, 425	3, 948, 479

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 2 月29日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 5 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	117,695	83,116
買掛金	171,896	400,409
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	184,892	184,892
リース債務	30,669	30,893
未払費用	167,263	190,181
未払法人税等	20,751	9,090
賞与引当金	50,300	77,100
役員賞与引当金	5,230	4,404
資産除去債務	—	4,542
その他	53,352	47,799
流動負債合計	1,052,052	1,282,427
固定負債		
長期借入金	324,894	278,671
役員退職慰労引当金	31,565	31,565
リース債務	56,154	48,347
資産除去債務	164,261	161,260
固定負債合計	576,875	519,843
負債合計	1,628,927	1,802,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,604,931	1,634,641
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	2,114,677	2,144,387
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,820	1,820
評価・換算差額等合計	1,820	1,820
純資産合計	2,116,498	2,146,208
負債純資産合計	3,745,425	3,948,479

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	1,701,105	1,789,037
売上原価	859,001	872,220
売上総利益	842,104	916,817
販売費及び一般管理費	802,013	815,196
営業利益	40,090	101,621
営業外収益		
受取利息	473	456
貸倒引当金戻入額	—	593
雑収入	339	475
営業外収益合計	812	1,525
営業外費用		
支払利息	6,184	4,695
営業外費用合計	6,184	4,695
経常利益	34,719	98,450
特別利益		
貸倒引当金戻入額	578	—
特別利益合計	578	—
特別損失		
固定資産除却損	5,695	—
店舗閉鎖損失	598	—
減損損失	—	5,588
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109,117	—
特別損失合計	115,411	5,588
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△80,112	92,861
法人税、住民税及び事業税	3,300	5,580
法人税等調整額	16,061	37,831
法人税等合計	19,361	43,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△99,474	49,449

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月25日開催の定時株主総会決議に基づき、平成24年5月25日をもって下記のとおり、剰余金の処分を行いました。

(剰余金の処分に関する事項)

①減少する剰余金の項目及びその額

別途積立金 50,000,000円

②増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 50,000,000円